

第 26 回みのわ未来委員会 会議要録

日 時：令和 4 年 1 月 14 日（金）13 時 30 分～15 時 30 分

会 場：大会議室

参 加 者：委員 10 人（zoom 参加：石田委員、浦野委員、沖村委員、北原委員、
竹内委員、欠席：山中委員）

町長、事務局 4 人（企画振興課）

報道機関：1 者（みのわ新聞社）

1 開 会（毛利企画振興課長）

2 町長あいさつ

新型コロナウイルス、引き続き感染対策をお願いしたい。

町としてはいかにワクチン接種を進めていくか考えるとともに、事業者への支援や無料検査等の感染対策も進めていきたい。

町の人口は今年 1/1 時点で 24,681 人、1 年前と比べると 138 人の減であるが、大きな減ではなく、内訳は自然増減の割合が多い、外国人の減は止まってきており、戻ってきている。

人口維持、少子化対策を当面の課題として、振興計画でも考えていきたい。

本日は、振興計画で策定当初見込んでいなかった部分を付記するにあたり、その内容について意見をいただきたい。

3 会長あいさつ

本日は、第 5 次振興計画後期計画改定中心に進めていく、コロナ禍だからこそ考えなければいけないことや SDG s 等これからの時代を見据えてそれぞれの立場で意見をいただきたい。

4 協議事項（進行：安積会長）

（1）前回の指摘事項に関する回答について（事務局説明）

(2) 箕輪町第5次振興計画後期計画 改定素案 (資料に基づき事務局説明)

○質疑、意見

沖村委員)

DXに関して、これからは不可欠であると思うが、DX化が進んだことによりデジタル弱者を生む弊害もある、コロナワクチンの予約でも問題となった、しっかりサポートしていくことが大事だと思う。

IT産業の誘致、育成も重要だと思う、サービス産業化が進んでいるなかで、工業の振興と併せてIT産業の振興も加えていくのが大事かと思う。

征矢委員)

改正はどのような手順でしていくのか。

事務局)

議会の議決案件なので、最終版を議会へ提出し議決いただく必要がある。

内容については本委員会で審議いただき修正をしていきたい、細かい部分は各担当課で修正をしていくので、次回審議いただきたい。また、その間にパブリックコメント等、町民の意見もいただく。

征矢委員)

町民の参加とあるが具体的には。

事務局)

本委員会やまちづくり地区懇談会のこと。

征矢委員)

ジェンダー平等について、現在役場の女性管理職の割合や男育児休業の取得はどうなっているか。

事務局)

女性管理職の割合は20%を超え、男性の育児休業は現在1名取得中であり、過去にも取得している職員がいる。

横谷委員)

丁寧に改正案を追加していただいておりますが、漏れがないと思うが、情報量が多いのではないかと、今回の修正案は追加のみであり、情報量が多いと浸透しづらく、どのように浸透させていくかが課題となると思う。

事務局)

改正にあたり、内容を削るという話もでていたが、議会にかけていることもあり、できなかつたらできなかつたなりにその計画の評価をしなければならないという観点から、あえて残すという判断をしている。

横谷委員)

人口の課題について、社会増とするためには、町外から来てもらって住み続けてもらう必要がある、そう思ってもらえるいい町にしていく必要がある。

社会増を持って来られる箕輪町の魅力は何か、そういうところをもう少し分析しながら計画を立てていかないと、他の自治体もやっている施策になってしまう、目玉の施策等、競争できるところを計画上に書けないにしても、そういうものをもっている施策にしてもらいたい

町長)

振興計画に載せていくには難しい問題である、かつての地域全体を活性化していこうという時代から、地域間の競争の時代になってきているのは確かであるが、お金がある自治体が勝ち組になるというレベルの話はあまり載せていない。主旨は理解している。

松澤委員)

男女共同参画計画、環境基本計画との整合で、エシカル消費も載せてもいいのではないか。

観光の部分について、もみじ湖渋滞の課題が観光施策の所に入っているのではないかと思う。人気を上げていくこともそうだが、人気が出てきたところでの対応も大事なのではないか。

事務局)

これから各担当課で作業するときに検討させていただきたい。

沖村委員)

箕輪町はメディアでも取り上げられ、移住したい町となってきている。そういった魅力を移住交流対策の所に載せる等、そのあたりを強化する施策を盛り込むのも一つの手かと思う。(富士見町のようなサテライトオフィスのPR等)

町長)

それも考えていきたい、あまり順番にこだわることもないとも思うが、今までの施策、対応が評価を頂いたと思っている。

課題は県外からの引き込みをどうするかである、箕輪町の魅力が伝わるように取り組んでいきたい。

松澤委員) (夢まち Labo について)

富士見町の場合は首都圏から利用するケースが多い、夢まち Labo は首都圏からというのは難しいが、地域の方にコワーキングスペースを徐々に使っただけになるようになってきている。

コロナ禍ということもあるが、オープン1ヶ月で50名程度の利用があり、カフェやシェアオフィスも入ってきており、富士見町とは違う路線で活用されている。

県外からの引き込みについても今後課題として考えていきたい。

沖村委員)

女性の人口減少課題への対応、施策はどう考えているか。

事務局)

町では専門の係もあり、女性の就労支援等に取り組んでいる。

先ほどの話で自然減が進んでおり、産まれる子供の数も減ってきている、今後人口減少が大きく拡大する可能性もある。女性が働きやすい、就業しやすい支援、また人口を減らさない為の住宅支援や助成、上伊那地域内の人口移動の対策、箕輪町を選んでもらう施策も考えていかなければならない。

沖村委員)

そのあたりについては、今回は新たに盛り込まなくても今の記載のままでのままでいいということか。

事務局)

具体的な細かい事業は実施計画や予算の中で考えていく、振興計画にどこまで入れていくかは検討していきたい。

町長)

今やらなければいけないのは働く場所の確保だと思っているが、箕輪町だけではできない部分で、上伊那の弱点でもある。

上伊那広域全体で対応していかなければならない。

また、住宅用地、工場誘致については、10年ほどやっていないが、今回やっていきたいと考えている。働く場所、住む場所を確保していかなければならない。

北原委員)

口コミで南箕輪がいいと聞いて選択肢になることがあると思う。

男性の育児休業について、会社で男性が育児休業をとれるという制度自体を奥さんが知らない場合もある、そのあたりの周知は大事だと思う。

石田委員)

ジェンダーレス、育児休業のみでなく男性の育児子育て支援・参加も入れていくのはどうか。

また、女性の産後の心身ケアの支援も検討してほしい。

事務局)

どちらとも担当課と相談し施策の中に入れ込める内容があれば入れていきたい。

施策への反映状況についてもまた見ていただきたい。

竹内委員)

資料2の9ページ、「24時間365日手続きができる」とあるが、押印等なく手続きできると入っていた方が分かりやすいのでは、その辺り進んでいるのか。

資料2の15ページ、ジェンダー平等について書いているのに「男女が性差なく」という文言はどうか。

事務局)

押印については、省略が進んでおり、デジタル化に向かっている、DX担当課と調整し文言考える。

「男女」の表記についても修正する。

柴委員)

産業の活性化に関して、商業の後継者問題がある、いかに後継者を見つけて事業を承継していくか、その問題を検討して行ってほしい。

事務局)

担当課でも把握はしている、事業承継は大事な問題、町の活性化にもつながってくる、担当課と話していきたい。

町長)

商業に限らない問題である。

工業、農業も、現状に併せて書き直した方がいい。

浦野委員)

資料2の16ページ、農業関係について、移住して新規で農業をはじめの方は意識が高く積極的にやってくれる。文言としてそのあたりも入るといいと思った。

IoT導入に関連して、異常気象・災害に対応する農業基盤の整備等も検討いただきたい。

DXについて、デジタル弱者を少なくしていくために、デジタル導入のメリットを伝えることも必要、そもそも新型コロナウイルスの影響の中でDXの必要性が挙がっているが、DXは単独でも必要なものだと思うので、うまく説明できるといいと思う。

事務局)

農業関係の部分は反映できればしていく。

DX推進に関しては、コロナも一因であると思うが、元々は産業の発展等の面もあるので検討して修正できればしていきたい。

沖村委員)

資料2の13ページ、箕輪町ゼロカーボンチャレンジに関して、概要①にエネルギーの地産地消とあるが、エネルギーを作り出すのは大変と思うがどう考えているか。

EV等の普及促進について、EVの販売比率は0.59%、FCVは0.03%である。FCVは水素ステーションも無いと使えない、県内で普及は難しいと思う。記載しない方がいいのではないか。

コロナの具体的な対応策等は記載しなくていいのか、一過性のものとして長期計画には具体的には入れないのか。

住民満足度の伸び率は素晴らしいと思う、目標値はもう少し上げなくていいのか。

事務局)

エネルギーについては、太陽光発電、地熱発電が町での主な供給源になると思う。FCVの記載については削除させていただきたい。

コロナの対応策については、いつ終息するかわからない問題でもあり、振興計画上は今後が見通せない以上、新しい生活様式、3密の回避などの「予防対策」、として、今記載してある項目で載せていきたい。具体的事業などは、計画の性質上、記載は難しい。

町長)

満足度調査の目標値については検討する。

エネルギー地産地消、再生可能エネルギーについては課題が多く、ゼロカーボンに大きく貢献するのは難しいが、町の資源として森林をどう活用していくかという問題があり、森林資源の活用をメインの事業としていきたい。

沖村委員)

塩尻で F-Power が稼働し、薪がなくなってきている、森林資源の確保も実際には問題となっている。

小水力発電も県の調査で上伊那では 1, 2 箇所以外は設置不可で厳しい状況、ソーラー等考えていくのか。

征矢委員)

太陽光発電設備の設置については町で規制していくと思うが、計画に記載しなくていいのか。

町長)

太陽光発電設備について土砂災害警戒区域、急傾斜地等の規制は考えていく、計画への記載については検討をさせてほしい。

森林資源整備の効果が薄いと思うが、森林の活用という面で見ると、荒廃対策にも活用していきたい、必要な分野として捉えている。

○委員会として本日の修正を事務局へ依頼

5 その他

特段なし

6 閉 会